

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 令和元年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>	
1.	事業名：薬局，医科診療所および町保健センターを起点とする地域住民のための多職種連携による歯科口腔保健推進システム構築のためのパイロット事業（3）
2.	申請者名：公益社団法人香川県歯科医師会 会長 豊嶋 健治
3.	実施組織：公益社団法人香川県歯科医師会 国立大学法人徳島大学歯学部予防歯学分野 まんのう町国民健康保険造田歯科診療所
4.	<p>事業の概要：</p> <p>これからの医療と介護は，地域包括ケアシステムの中で多職種連携体制により提供されることで，住民ニーズに合致した効率的な社会保障サービスが期待されている。がん患者等への周術期口腔機能管理，糖尿病対策，食生活支援などにおいて，多職種連携への歯科の参画が進展しているが，非歯科医療職からの歯科保健への参画による双方向性は不十分である。非歯科の医療関係職から歯科に向けた，地域における連携システムの構築を目指し，最近実用化された多項目・短時間唾液検査装置（ST）を薬局，医科診療所，町健康センター等に設置し，薬剤師，医師，看護師，保健師，管理栄養士等が，測定結果に基づいて口腔健康情報の説明，および必要な人へは歯科受診勧奨を行う事業を実施する。</p>
5.	<p>事業の内容：</p> <p>最近実用化された多項目・短時間唾液検査装置(ST)は，専門的な歯科知識がなくても医療職であれば容易に測定でき，得られた測定結果に基づいて，それぞれのクライアントの口腔健康管理・歯科保健指導に関与することが可能である。香川県の琴平・まんのう地区で過去2年間，STを地域の薬局，医科診療所，町保健センターに設置し，非歯科の各医療職が其々のクライアントの口腔健康状態を説明し，必要に応じて歯科受診を勧奨する体制を試行した結果，特に薬局との協働に将来性が見出された。薬局を歯科保健情報の発信拠点として住民が活用できる“歯薬連携環境”の構築により，かかりつけ歯科医機能とともに，かかりつけ薬局機能を強化することを本事業の狙いとして，薬局におけるST検査の実施，地域の薬剤師と歯科医師が互いに教え合う研修会の実施，本歯薬連携システムに参加した地域住民（薬局クライアント）の意見や感想，ニーズを把握のためのアンケート調査を計画した。</p>
6.	<p>実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>香川県の琴平・まんのう地区の4軒の調剤薬局にSTを設置し，薬剤師による唾液検査と歯科保健指導の実施を計画した。うち3軒の薬局で計31人のクライアントがST唾液検査に応じ，28人の検査結果と問診調査票を回収し，集計・分析を行った。検査結果に基づき，必要に応じてかかりつけ歯科医院の受診を勧奨したところ，9人が地元歯科医院を受診した。地域の薬剤師と歯科医師の合同研修会は，新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止となったため，研修会で共同作成する予定であった地域住民へのアンケート調査も実施できていないが，唾液検査を実施できなかった店も含めた薬局へのヒアリングによって，今後の課題解決につながる情報を得ることができた。</p>